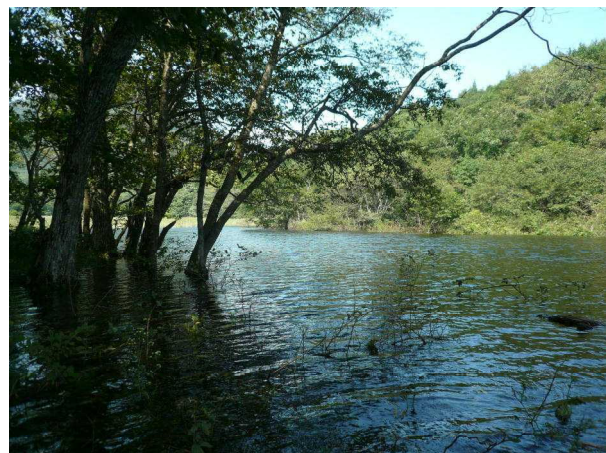


平成26年度  
**塩那の国有林**  
—管内概要—



**塩那森林管理署**



〒324-0022  
栃木県大田原市宇田川1787-15  
TEL: 0287-28-3125  
FAX: 0287-28-3531

## 公益的機能の増進を基本に、地域振興に努めています

塩那森林管理署は、栃木県北東部の那珂川源流域(西部)と、八溝山系の中流域(東部)に分布する国有林約 41,000ha を管理しています。

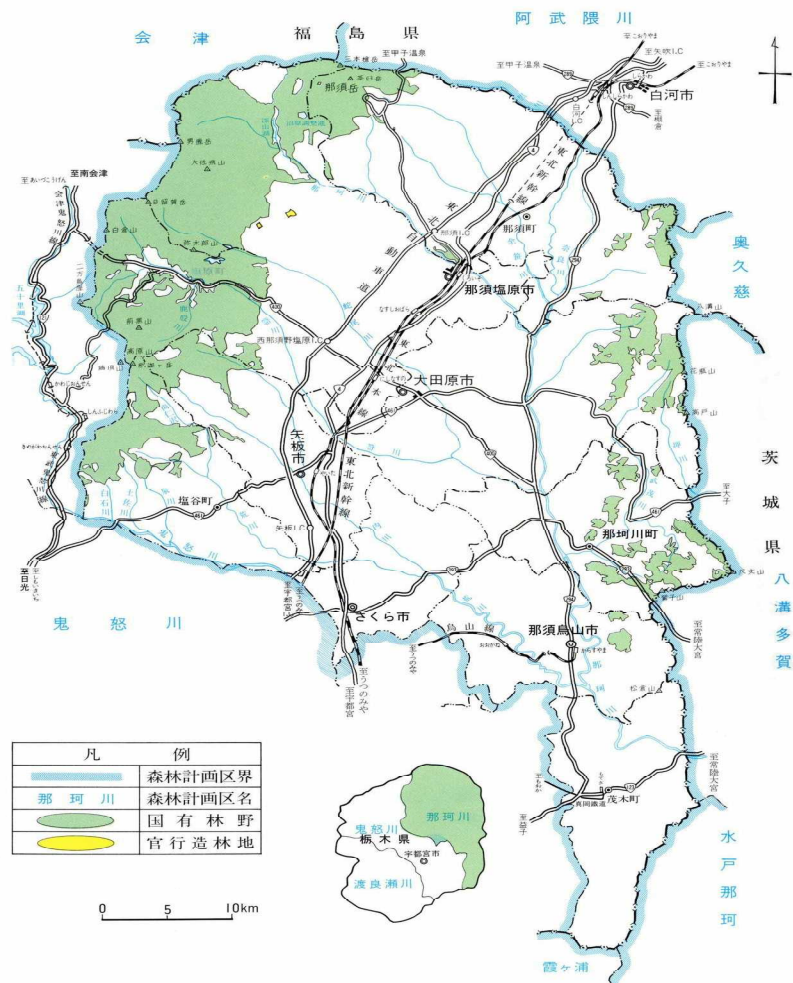
北西部の森林は、天然林が7割を占める高山地域(高原、大佐飛、那須)に位置することから、水源かん養機能や土砂流出防止機能の発揮はもとより、優れた森林景観には自然とのふれあいの場としての機能発揮が求められています。

一方、南西部の矢板・塩谷の里山地域と東部の八溝地域は肥沃な土壌に恵まれ、古くから高原材・八溝材のブランドとして良質なスギやヒノキを生産し、CO<sub>2</sub>吸収源としての森林整備と、木材の安定供給を通じた木材産業などの振興に役立っています。

森林の分布は、温暖帯から亜高山帯の植物が中心となりますが、高山帯の代表的な植物であるハイマツが一部に見られます。

### ～塩那森林管理署の管理区域～

那珂川森林計画区的位置図





きのうるいけい  
**機能類型に応じた森林の取扱いを進めています**

国有林では、国土保全や水資源かん養、自然環境の保全などの公益的機能の維持増進を重視した管理経営を推進しています。

これに資するため、重点的に発揮させる機能により、森林を①山地災害防止タイプ、②自然維持タイプ、③森林空間利用タイプ、④快適環境形成タイプ、⑤水源涵養タイプの5つに区分して管理しています。

機能類型区分		機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	該当する森林の面積ha
山地災害防止タイプ	土砂流出・崩壊防備	山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持	3,605
	気象害防備タイプ			
自然維持タイプ		原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森林、学術的に貴重な動植物の生息に適した森林の維持	10,465
森林空間利用タイプ		保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成	6,467
快適環境形成タイプ		快適な環境の形成の機能の発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持	-
水源涵養タイプ		水源の慣用の機能の発揮を第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮	20,712



水源かん養タイプ



森林空間利用タイプ

## 森林の多様な機能の発揮に努めています

### 保安林の整備

森林が持っている水源のかん養、災害の防備、生活環境の保全・形成、保健休養の提供などの機能を高く発揮させるため、森林法に基づく「保安林」に指定し、適切な維持管理に取り組んでいます。

保安林種 面積 (ha)	水源のかん養	土砂流出防備	土砂崩壊防備	合 計
	32,178	3,211	24	
	干害防備	保 健	風 致	35,494
	27	2,431	78	

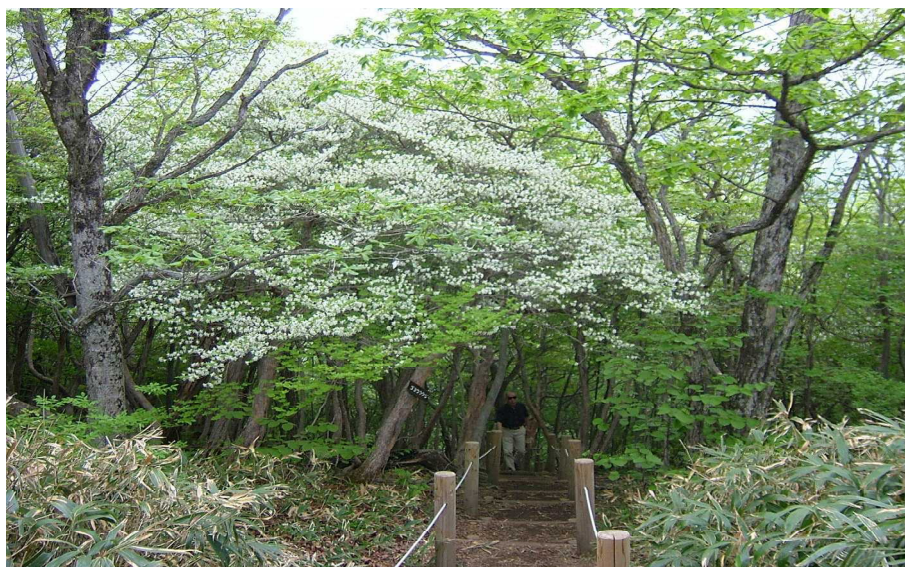
(保安林率 86%)

(注) 保安林の「合計」欄は保安林ごとの重複関係を除く面積を計上。

### レクリエーションの森の整備

人と森林とのふれあいの場を提供するため、四季折々の自然の美しさを楽しむことができる自然休養林や野外スポーツ地域などの「レクリエーションの森」を設定し、森林とふれあえる環境を整備しています。

区 分	自然休養林	自然観察教 育林	野外スポー ツ地域	風景林	風致探勝林	計
箇所数	2	6	6	7	1	22
面積 (ha)	1,772	872	776	1,442	28	4,890



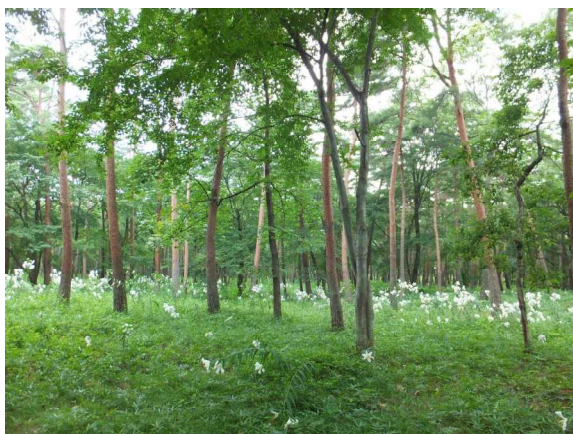
中大倉山自然観察教育林  
ゴヨウツツジ(シロヤシオ)



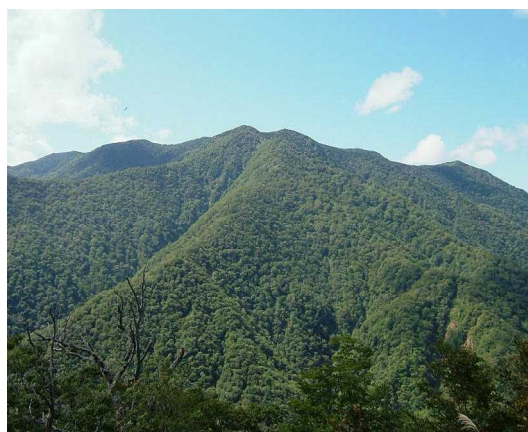
## 保護林及び緑の回廊の指定

当署では、貴重な植物が生育する5箇所の森林を「保護林(8,909ha)」に指定し、その保全に努めています。

また、日光～那須～吾妻(福島県)の山地を結ぶ区域において、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促し、より広く効果的な生物多様性の保全を図っていくため「日光・吾妻山地緑の回廊(全体面積：97,235ha、管内面積：18,586ha)」を平成22年度に拡大しました。



那須街道アカマツ林木遺伝資源保存林



日光・吾妻山地緑の回廊

## 森林整備と木材の安定供給

再生可能な資源である木材の利用促進に向け、自然条件などを考え合わせながら、収穫と植林を循環的に行い、木材を安定的に供給するように努めています。

また、当署管内の高原や八溝地区から産出されるスギ・ヒノキの木材の品質は高いと評価されています。



高原・八溝ブランドの丸太  
(民間の木材市場を活用した木材の販売)



高性能林業機械(プロセッサ)を使った造材作業

## 流域を単位に

# 民有林行政と連携した取組を進めています

### 流域単位での取組の推進

地域における適切な森林整備や林業・林産業の活性化を図るためには、流域を単位として民有林と国有林が連携して事業を進めることが重要です。

### 流域森林・林業活性化協議会の取組

民有林と国有林が連携して流域の森林整備や林業の振興などを進めるため、関係者による「八溝地区流域森林・林業活性化協議会」および「高原地区流域森林・林業活性化協議会」を設けています。

この協議会には、当署のほか、流域内の地方自治体や森林組合の職員をはじめ多くの林業関係者が参加しています。



現地検討会の様子

### ※市町(村)別森林の現況

(注) 国有林面積は、林野庁所管分

流域	市 町 村	総面積 ① (ha)	森林面積 ② (ha)	森林率 ②/① (%)	うち 国有林面積 ③ (ha)	国有林率 ③/① (%)	森林の 国有林率 ③/② (%)
那珂川	大田原市	35,412	15,306	43	3,023	9	20
	矢板市	17,066	9,769	57	2,154	13	22
	那須塩原市	59,282	38,495	65	24,886	42	65
	さくら市	12,546	2,519	20	—	—	—
	那須烏山市	17,442	8,130	47	321	2	4
	茂木町	17,271	11,084	64	—	—	—
	塩谷町	17,599	11,331	64	4,026	23	36
	那須町	37,231	23,555	64	4,107	11	17
	那珂川町	19,284	12,260	64	2,493	13	20
	計	233,133	132,451	57	40,990	18	31

## 「国民の森林」として、開かれた管理経営を目指します

### ① 国民参加の森林づくり

国民の森林づくりへの参加意識の高まりや、地球環境保全への貢献などの要望に応えるため、ボランティア活動のフィールドとして国有林を提供しています。

その中でも、団体が国と協定を締結してボランティア活動を行う「国民参加の森林づくり」という方式は、森林づくり活動を長期的・継続的に行えるという利点があります。

#### 協定方式によるボランティア活動

名 称	団 体 名	協定締結	所在地	面積	活動内容
那須ふれあいの森	栃木県那須五葉松保存会外1	H 12. 3.21	那須町	209ha	那須ゴヨウマツの分布調査及び保護活動
赤沼～モリアオガエルとサンショウウオの森～	森衛隊	H 16.10. 4	那須塩原市	13ha	赤沼周辺での間伐等の森林整備等
那須野ヶ原オオタカの森	NPO 法人オオタカ保護基金	H 16. 4.22	那須町	79ha	野鳥のヒナ及び営巣地の保護や観察
那須北岳遊々の森	那須高原自然学校	H 21. 9. 1	那須町	107ha	動植物や星の観察、森林整備の体験等
大沼周辺自然再生推進計画	那須塩原市	H 16.12.21	那須塩原市	140ha	生物多様性の保全等に配慮した森林整備、環境教育等
摂政宮殿下御野立所の森	森衛隊	H 16.11. 1	那須塩原市	2ha	摂政宮殿下下行幸記念碑の保全及び森林整備
人とクマタカ共生の森	NPO 法人オオタカ保護基金	H 24.11.30	那須塩原市	0.5ha	希少野生動植物に配慮した森林づくりの実施
塩原クマタカの森	NPO 法人オオタカ保護基金	H 25. 5. 7	那須塩原市	115ha	自然観察会を通じて希少野生生物に配慮した森林づくりの普及啓発





オオタカの森での野鳥観察会



人とクマタカ共生の森での下刈活動

## ② 森林・林業の普及啓発活動～森林環境教育等

当署では、地域の小中学生や各種ボランティア団体等を対象とした森林教室などを開催し、林業の体験や森林環境教育の活動を進めています。



体験林業(アカマツの植樹体験)



地域の小学生による職場探検

## ③ 国有林の管理経営に関する情報等の提供

管理経営にあたっては「国民の森林」として、国民の皆さまに「開かれた国有林」を目指します。

このため、森林法に基づく那珂川国有林の森林計画樹立に向けて、意見交換会の開催や管内レクリエーションの森などホームページによる PR、森林・林業に関する情報・サービスの提供に努めています。

### ※ 森林計画の策定

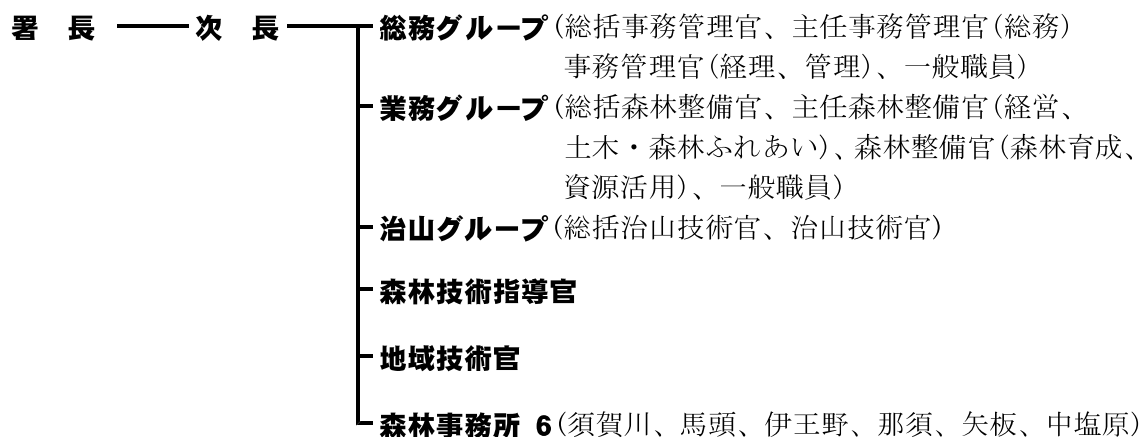
国有林の管理経営は、地域管理経営計画などの計画に基づいて行います。計画の策定の際には、公告・縦覧により国民の皆さんや地方自治体など関係行政機関の意見をあらかじめ聞き、反映するように努めています。



## 平成26年度主要事業量

事業別	事業量	備 考
収 穫 量	62,632m <sup>3</sup>	
丸太生産量	18,000m <sup>3</sup>	
地 拵	30ha	
植 付	32ha	
下 刈	245ha	
つ る 切	13ha	
除 伐	92ha	
間 伐	196ha	
枝 打	ha	
病虫獣害	131ha	クマ・シカによる幹の皮はぎ対策、マツクイムシ防除(地上散布)
林 道	3路線	林業専用道(新設1路線)ほか
治 山	3箇所	復旧治山2箇所(山腹工) 実施設計1箇所

### 塩那森林管理署の組織図



#### ○ 署の沿革

#### 開所 1 2 4 年

明治 2 2 年	栃木大林区署大田原派出所を開設(初代庁舎)
明治 2 3 年	大田原小林区署に改称
大正 2 年	新庁舎を新築(2代目庁舎)
大正 1 3 年	大田原営林署に改組
昭和 2 2 年	林政統一
昭和 2 6 年	宮内庁那須御用邸附属林の管理開始(委嘱)
昭和 3 0 年	新庁舎を新築(3代目庁舎)
平成 1 1 年	塩那森林管理署に改組
平成 1 3 年	矢板事務所(旧矢板営林署)を廃止し統合
平成 1 4 年	新(現)庁舎を新築(4代目庁舎)

※表紙の写真：左上「那須街道アカマツ林」 左下「ブナ林」

右上「茶臼岳」(日本百名山のひとつ) 右中「明神岳スキー場」 右下「大沼」